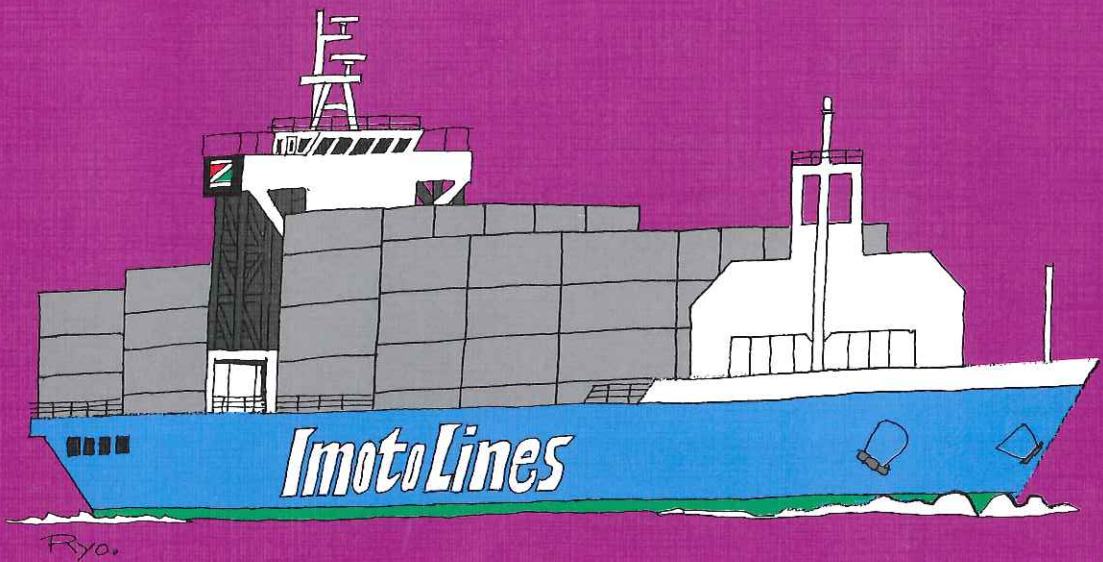


ふねと うみ

その安全を求めて



2013年4月号

公益財団法人

海難審判・船舶事故調査協会

巻頭言

「公益財団法人への移行にあたって」
..... (公財)海難審判・船舶事故調査協会会長 前川弘幸..... 1

ごあいさつ

海難審判行政と公益財団法人海難審判・船舶事故調査協会の取り組み
..... 海難審判所 清水正男..... 2

特別寄稿

「日本近代海難調査史話（第1話 海難処理前史）
-江戸時代後期（幕末）の海難処理-」
..... 前海難審判協会顧問 伊藤喜市..... 4

特集

運輸案委員会ホームページに「船舶事故ハザードマップ」を掲載
..... 運輸安全委員会 事務局..... 11

「平成24年版レポート海難審判」の概要 海難審判所..... 13

(公財)海難審判・船舶事故調査協会インフォメーション
海事補佐人の依頼に係る援助について
..... (公財)海難審判・船舶事故調査協会 扶助部長..... 17

公益財団法人への移行申請を終えて
..... (公財)海難審判・船舶事故調査協会 事務局..... 20

海難審判協会第3回理事会報告 22

刊行物のご案内 26

..... 表紙のことば

「ま や」

今回は珍しく内航貨物船をとり上げてみた。しかもフルコンテナ船を描くのは初めてのことである。船好きの友人の紹介で内航の船会社の人に会い、自社の船の絵を描いてほしいと依頼されたのがきっかけである。

「まや」は神戸に本社を置く井本商運が二〇〇八年に建造した内航フルコンテナ貨物船で総トン数七四八トン。現在同社は十七隻の船を所有して日本全国へコンテナのフィーダーサービスを行っているのである。内航とは云え運ぶ貨物は外航船会社のコンテナ船が運んできたもので仕事は外航なみと云えるか

もしれない。

今日、自然環境を汚さないCO₂を減らす努力が各方面で行われているが内航コンテナ船のフィーダーサービスはトラックによる陸上輸送よりもCO₂の排出をおさえる効果も大きく、物流の新しい役割が大いに注目されるのではないだろうか。

柳原良平

